



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月15日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <http://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 津田 純嗣

問合せ先責任者 (役職名) 東京管理部広報グループ長 (氏名) 林田 歩

TEL 03-5402-4564

四半期報告書提出予定日 平成22年11月2日 配当支払開始予定日 平成22年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年3月21日～平成22年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	139,464	41.8	3,478	—	3,478	—	1,701	—
22年3月期第2四半期	98,355	—	△8,374	—	△8,098	—	△6,262	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	6.76	—
22年3月期第2四半期	△24.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	254,478	92,918	34.6	350.34
22年3月期	241,649	93,289	36.6	351.47

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 88,169百万円 22年3月期 88,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
23年3月期	—	2.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年3月21日～平成23年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	295,000	31.3	12,500	—	12,500	—	6,500	—	25.83

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、(添付資料)4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	252,331,938株	22年3月期	252,331,938株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	661,774株	22年3月期	649,178株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	251,676,411株	22年3月期2Q	251,718,007株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（添付資料）

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年3月21日～平成22年9月20日）の当社グループを取り巻く事業環境は、期後半の円高の急速な進行はありましたが、中国をはじめとするアジアを中心とした好調な外需及び主要な国内顧客の業績回復を受け、拡大基調で推移いたしました。

このような状況を捉え、当社グループでは業績の回復・拡大を図るべく、中期経営計画“Challenge 100”に掲げる成長戦略のもと、以下の施策を実行してまいりました。

- ・成長市場である、中国をはじめとするアジア、新興国市場への販売加速
- ・環境エネルギー事業の推進、拡大
- ・徹底的なコストダウンの継続

上記の事業環境の好転及び施策実行の結果、主要セグメントであるモーションコントロール及びロボットを中心に、売上高・損益とも前年同期から大きく拡大・改善いたしました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高1,394億64百万円（前年同期比41.8%増）、営業利益34億78百万円（同118億53百万円増）、経常利益34億78百万円（同115億77百万円増）、四半期純利益17億1百万円（同79億63百万円増）となりました。

当社グループでは、事業内容を5つのセグメントに分けております。

当第2四半期連結累計期間の各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

セグメントの名称	売上高（前年同期比）	営業損益（前年同期比）
モーションコントロール	766億98百万円 （70.4%増）	41億66百万円 （81億19百万円増）
ロボット	379億34百万円 （50.6%増）	△5億51百万円 （47億46百万円の損失減）
システムエンジニアリング	138億85百万円 （23.7%減）	1億19百万円 （13億74百万円減）
情報	70億76百万円 （4.1%減）	△5億38百万円 （73百万円の損失減）
その他	38億69百万円 （49.2%増）	2億75百万円 （3億59百万円増）

[モーションコントロール]

ACサーボモータ・コントローラは、顧客の設備投資の再開に伴う需要の拡大に支えられ、受注は高水準となりました。急速な受注の立ち上がりに追従すべく、生産面での強化等に注力し売上の拡大に努めました。

インバータは、省エネルギー需要と、中国をはじめとするアジアを中心としたインフラ関連需要を取り込み、受注・売上とも、堅調な状況を持続しております。

これらの結果、売上高は前年同期比で拡大し、また営業損益も黒字転換いたしました。

[ロボット]

溶接・ハンドリングロボット等は、海外では自動車業界向け等を中心に拡販に努め、受注が拡大いたしました。国内では自動車業界向け需要回復は停滞しておりますが、一般産業界向け需要獲得に注力いたしました。また、液晶業界向け等についても堅調な水準を持続いたしました。

この結果、売上高・損益とも前年同期比で拡大・改善いたしました。

〔システムエンジニアリング〕

鉄鋼業界向けが需要の端境期にあり、前年同期比で売上高は減少いたしました。原価低減と採算管理の徹底により黒字を確保いたしました。

〔情報〕

情報関連設備投資の回復はありましたが、競争激化により売上高は前年同期比で微減となりました。損益面では、徹底した原価低減により損失は減少いたしました。

〔その他〕

当セグメントには、物流サービス、人材派遣等の事業が含まれております。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、2,544億78百万円（前連結会計年度末比128億28百万円増）で、流動資産が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、1,615億59百万円（同132億円増）で、流動負債が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、929億18百万円（同3億71百万円減）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

主要セグメントにおける受注動向等を踏まえ、平成23年3月期（平成22年3月21日～平成23年3月20日）の業績予想を以下のとおり修正いたします。連結業績予想の修正については、本日（平成22年10月15日）公表の「平成23年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、平成22年9月21日から平成23年3月20日までの期間における為替レートは、平均85円／米ドル、平均110円／ユーロを想定しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	270,000	8,000	8,000	4,000	15.89
今回修正予想（B）	295,000	12,500	12,500	6,500	25.83
増減額（B－A）	25,000	4,500	4,500	2,500	－
増減率（％）	9.3	56.3	56.3	62.5	－
前期実績	224,710	△6,977	△6,049	△5,699	△22.64

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上しております。

⑤法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、一時差異の発生状況等について前連結会計年度末から著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高及び損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,180	16,430
受取手形及び売掛金	83,344	81,024
商品及び製品	32,681	30,747
仕掛品	8,826	5,935
原材料及び貯蔵品	12,152	9,517
その他	23,481	19,931
貸倒引当金	△1,612	△1,550
流動資産合計	177,054	162,036
固定資産		
有形固定資産	36,298	36,390
無形固定資産	5,484	5,202
投資その他の資産		
その他	36,189	38,509
貸倒引当金	△549	△489
投資その他の資産合計	35,639	38,019
固定資産合計	77,423	79,612
資産合計	254,478	241,649

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,467	51,082
短期借入金	32,268	31,830
役員賞与引当金	25	44
その他	26,077	22,294
流動負債合計	119,839	105,252
固定負債		
長期借入金	9,201	10,405
退職給付引当金	31,176	31,337
役員退職慰労引当金	254	278
その他	1,088	1,085
固定負債合計	41,720	43,107
負債合計	161,559	148,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,062	23,062
資本剰余金	18,682	18,682
利益剰余金	52,942	51,534
自己株式	△416	△407
株主資本合計	94,269	92,871
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,163	1,241
繰延ヘッジ損益	△0	△11
為替換算調整勘定	△7,263	△5,641
評価・換算差額等合計	△6,100	△4,412
少数株主持分	4,748	4,830
純資産合計	92,918	93,289
負債純資産合計	254,478	241,649

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年9月20日)
売上高	98,355	139,464
売上原価	77,901	105,022
売上総利益	20,454	34,442
販売費及び一般管理費	28,828	30,963
営業利益又は営業損失(△)	△8,374	3,478
営業外収益		
受取利息	33	61
受取配当金	131	178
雇用調整助成金	451	185
その他	619	393
営業外収益合計	1,235	819
営業外費用		
支払利息	370	321
持分法による投資損失	163	10
為替差損	260	306
その他	166	181
営業外費用合計	959	819
経常利益又は経常損失(△)	△8,098	3,478
特別利益		
固定資産売却益	24	42
特別利益合計	24	42
特別損失		
固定資産除売却損	88	37
たな卸資産評価損	2,138	—
投資有価証券評価損	—	358
その他	83	106
特別損失合計	2,311	502
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△10,385	3,018
法人税、住民税及び事業税	321	2,056
過年度未払法人税等戻入額	△139	—
法人税等調整額	△4,087	△685
法人税等合計	△3,905	1,370
少数株主損失(△)	△216	△54
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,262	1,701

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月21日 至 平成21年9月20日）

（単位：百万円）

	モーション コントロール	ロボット	システムエンジ ニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連結
売 上 高								
(1)外部顧客に対する売上高	44,999	25,196	18,188	7,378	2,592	98,355	—	98,355
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,075	209	738	837	1,848	5,709	△5,709	—
計	47,075	25,405	18,927	8,215	4,441	104,065	△5,709	98,355
営 業 利 益 又は営業損失(△)	△3,952	△5,297	1,493	△611	△83	△8,452	78	△8,374

（注）1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日）

（単位：百万円）

	モーション コントロール	ロボット	システムエンジ ニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連結
売 上 高								
(1)外部顧客に対する売上高	76,698	37,934	13,885	7,076	3,869	139,464	—	139,464
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,092	439	694	1,522	2,360	11,109	△11,109	—
計	82,790	38,374	14,580	8,598	6,229	150,574	△11,109	139,464
営 業 利 益 又は営業損失(△)	4,166	△551	119	△538	275	3,471	7	3,478

（注）1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月21日 至 平成21年9月20日) (単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	58,135	13,889	10,700	15,629	98,355	—	98,355
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	12,103	162	55	1,082	13,402	△13,402	—
計	70,238	14,052	10,755	16,711	111,758	△13,402	98,355
営業利益又は営業損失(△)	△10,769	257	△725	770	△10,467	2,093	△8,374

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の主な国の内訳は、つぎのとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月21日 至 平成22年9月20日) (単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	83,528	16,988	13,080	25,867	139,464	—	139,464
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	28,566	221	103	2,892	31,784	△31,784	—
計	112,094	17,209	13,184	28,759	171,248	△31,784	139,464
営業利益	1,777	1,067	388	1,963	5,197	△1,718	3,478

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の主な国の内訳は、つぎのとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月21日 至平成21年9月20日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	14,416	10,329	22,877	630	48,254
II 連結売上高	—	—	—	—	98,355
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	15%	11%	23%	0%	49%

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な国の内訳は、つぎのとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等
- (4) その他 オーストラリア等

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月21日 至平成22年9月20日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	19,237	13,118	41,038	374	73,768
II 連結売上高	—	—	—	—	139,464
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	14%	9%	30%	0%	53%

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な国の内訳は、つぎのとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等
- (4) その他 オーストラリア等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。